

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公開番号】特開2020-204778(P2020-204778A)
【公開日】令和2年12月24日(2020.12.24)
【年通号数】公開・登録公報2020-052
【出願番号】特願2020-147541(P2020-147541)
【国際特許分類】

G 1 0 L 19/008 (2013.01)

G 1 0 L 21/038 (2013.01)

【F I】

G 1 0 L 19/008 1 0 0

G 1 0 L 21/038

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月10日(2021.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のオーディオ信号をデコードする方法であって、当該方法は：

第一のオーディオ信号を受領する段階であって、前記第一のオーディオ信号はミッド信号である、段階と；

前記ミッド信号に対応する第二のオーディオ信号を受領する段階であって、前記第二のオーディオ信号はサイド信号である、段階と；

前記第二のオーディオ信号およびその対応するミッド信号をデコードして、あるスピーカー構成の二つのチャンネルでの再生に好適な第一のステレオ信号および第二のステレオ・オーディオ信号を含むステレオ信号を生成する段階とを含み、

受領された前記第二のオーディオ信号は第一の周波数までの周波数に対応するスペクトル・データを含む波形符号化された信号であり、前記対応するミッド信号は前記第一の周波数より大きいある周波数までの周波数に対応するスペクトル・データを含む波形符号化された信号であり、

前記第二のオーディオ信号およびその対応するミッド信号をデコードすることは、前記ミッド信号および前記サイド信号をアップミックスして前記ステレオ信号を生成することを含み、前記第一の周波数より下の周波数については、前記アップミックスは、前記サイド信号および前記ミッド信号の逆和差変換を実行することを含み、前記第一の周波数より上の周波数については、前記アップミックスは前記ミッド信号のパラメトリック・アップミックスを実行することを含む、方法。

【請求項2】

前記第一のオーディオ信号および前記第二のオーディオ信号は周波数領域で表現されている、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記ステレオ信号を時間領域に変換することをさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】

複数のオーディオ信号をデコードする装置であって、当該装置は：

ミッド信号である第一のオーディオ信号を受領し、前記ミッド信号に対応する、サイド信号である第二のオーディオ信号を受領する受領器と；

前記第二のオーディオ信号およびその対応するミッド信号をデコードして、あるスピーカー構成の二つのチャンネルでの再生に好適な第一のステレオ信号および第二のステレオ・オーディオ信号を含むステレオ信号を生成するデコーダとを有しており、

受領された前記第二のオーディオ信号は第一の周波数までの周波数に対応するスペクトル・データを含む波形符号化された信号であり、前記対応するミッド信号は前記第一の周波数より大きいある周波数までの周波数に対応するスペクトル・データを含む波形符号化された信号であり、

前記第二のオーディオ信号およびその対応するミッド信号をデコードすることは、前記ミッド信号および前記サイド信号をアップミックスして前記ステレオ信号を生成することを含み、前記第一の周波数より下の周波数については、前記アップミックスは、前記サイド信号および前記ミッド信号の逆和差変換を実行することを含み、前記第一の周波数より上の周波数については、前記アップミックスは前記ミッド信号のパラメトリック・アップミックスを実行することを含む、装置。

【請求項 5】

前記第一のオーディオ信号および前記第二のオーディオ信号は周波数領域で表現されている、請求項 4 記載の装置。

【請求項 6】

前記ステレオ信号を時間領域に変換するよう構成された時間 / 周波数変換コンポーネントをさらに有する、請求項 4 記載の装置。

【請求項 7】

プロセッサによって実行されたときに請求項 1 記載の方法を実行する命令を含んでいる非一時的なコンピュータ可読記憶媒体。